

令和7(2025)年 自己評価(学校運営)

A=80%以上、B=79~50%、C=49%以下

評価項目		総合評価
I 学校 経営	1 教育理念・教育目的に学校管理者の考え方が反映されているか。	A
	2 教育課程の運用に学校管理者の考え方が反映されているか。	A
	3 学校の単年度目標を策定している。	A
	4 目標(単年度)に対する評価を年度内に実施し、その結果を教職員に周知するとともに、次年度の目標につなげているか。	A
	5 各科の単年度目標を策定している。	A
	6 各科の単年度目標に対する評価を年度内に実施しその結果を教職員に周知するとともに、次年度の目標につなげているか。	A
	7 学校評価を組織的に実施し、評価結果を教職員に周知するとともに、改善計画を策定しているか。	A
	8 特色ある学校づくりを進めるために、教育内容の充実に努めているなど、学校独自のカラーをだしているか。	A
	9 主任会議が、学校運営に関する議論の場として機能しているか。	A
	10 教務主任 教務会議が、学年及び各看護学の目標達成や年間指導計画実施の場として機能しているか。 事務主任 事務科会議が校舎管理、教務事務や、学生支援等の計画実施の場として機能しているか。	A
II 教育 課程 ・ 教育 活動	11 教育目標に、養成する准看護師、看護師が卒業時において持つべき資質を明示しているとともに、卒業時の到達状況を分析しているか。	A
	12 教育課程は、教育理念・教育目標と一貫性がある内容になっているか。	A
	13 定期的に教育課程の評価を組織的に行い、時代の要請、変化にあったものに修正しているか。	A
	14 シラバス(授業計画書)は、学生が授業内容を理解しやすく、授業内容と一致しているか。	A
	15 授業の一貫性を確保するため、1科目の担当者数を最小限にするとともに、担当者間の連携がとれているか。	A
	16 効果的な授業運営を図るため、適切に時間割を調節しているか。	A
	17 授業内容や指導方法が学生レベルにあうよう工夫・改善しているか。	A
	18 未履修科目の原因分析を教員側と学生側とで実施し、対応策を講じているか。	A
	19 実習目標に沿った病棟の選択及び、学習環境・指導体制が整っているか。	A
	20 学生に修了認定のための評価基準と方法を公表しており、かつ、評価が公平性・妥当性が保たれているか。	A
	21 実習における患者への倫理的配慮に関するガイドラインを作成し、患者等の同意を得た上で、実施しているか。	A
	22 実習において、学生が関係したインシデント等を把握・分析しているとともに、改善策を講じているか。	A

評価項目		総合評価
II 教育 活動 課程 ・ 卒 業 入 学 対 策 ・ IV の 学 生 支 援 生 活 へ	23 実習指導者と教員の役割を明確にしているとともに、実習指導者と教員の協働体制を整えているか。	A
	24 学生による授業評価を実施し、授業の改善に努めているか。	A
	25 学生指導において、学生に対して人権への配慮がされているか。	A
卒 業 入 学 対 策 ・ IV の 学 生 支 援 生 活 へ	26 資格試験、国試対策に個々の学生にあった指導・援助を実施するなど、教職員一丸となって取り組んでいるか。	A
	27 中途退学者を少なくする工夫・努力をしている。	A
卒 業 入 学 対 策 ・ IV の 学 生 支 援 生 活 へ	28 卒業生の市原市内就職率を高めるよう努力しているか。	B
	29 学生の心身面での健康管理体制がととのっているか。	A
卒 業 入 学 対 策 ・ IV の 学 生 支 援 生 活 へ	30 学生生活、進学、就職に関して学生の相談に十分応じているか。	A
	31 卒後の中途退職・就職等相談の支援体制がある。	A
V 管 理 運 営 ・ 財 政	32 予算計画、年間事業計画を策定し、適正な予算の執行・進行管理を行っているか。	A
	33 学生、非常勤講師や教職員の個人情報の保護・ハラスメント防止について、考慮しているか。	A
	34 教職員はワークライフバランスのある活動ができていますか。	A
V 管 理 運 営 ・ 財 政	35 災害など非常時の危機管理体制が整っているか。	A
	36 学校運営などに学生の意見が反映されている。	A
	37 校舎は耐震性に優れ、バリアフリーなどに配慮された構造になっているか。	A
VI 施 設 整 備	38 教育目標達成に必要な施設、設備及び新しい機材が整っており活用されているか。	A
	39 学生のために、休息、親睦及び交流等を行うためのスペースが設けられているか。	A
	40 学校の抱えている課題を踏まえた職場内研修を行っているか。	A
VII 教 職 員 の 育 成	41 研修や出張で学会等に参加した成果を他の教職員に還元する仕組みがある。	A
	42 教員が計画的に臨床看護研修に参加しているか。	A
	43 教員は、専門職として研究活動をしているか。	A
	44 教員の授業を他の教員が参観、講評できる制度があるか。	A
VIII 広 報	45 より多くの応募者を確保することに努めているか。	A
	46 ホームページは、適時に更新し、見やすくしているか。	A
	47 学校運営及び評価の結果を学校関係者以外に、何らかの方法で公表しているか。	A
IX 連 地 域 携 との	48 地域社会への貢献の一環として、学校施設を地元開放しているか。	A
	49 地域との協力関係が確立されている。	B